

Excel 上で辞書の見出し語文字数の多い順に並べ替えを行う方法

辞書のファイルを開きます。

見出し語が A 列、訳語が B 列に入っているという前提で話を進めます。

	A	B
1	水素	hydrogen
2	ヘリウム	helium
3	リチウム	lithium
4	ベリリウム	beryllium
5	ホウ素	boron

A 列と B 列をすべて選択し、[挿入]メニューで[列]を選択します。

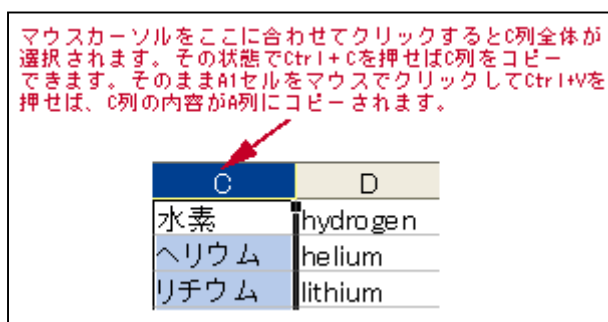
これで空白の A 列と B 列が作成され、見出し語が C 列、訳語が D 列にきます。

	A	B	C	D
1			水素	hydrogen
2			ヘリウム	helium
3			リチウム	lithium
4			ベリリウム	beryllium
5			ホウ素	boron
6			炭素	carbon
7			窒素	nitrogen
8			酸素	oxygen

C 列の内容（見出し語）を A 列にコピーします。

これで、A 列 = 見出し語、B 列 = 空白、C 列 = 見出し語、D 列 = 訳語となります。

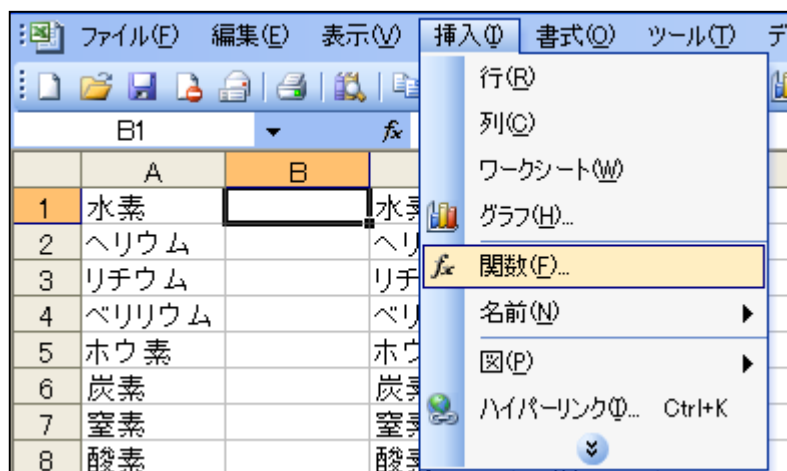
マウスポインタをここに合わせてクリックするとC列全体が選択されます。その状態でCtrl+Cを押せばC列をコピーできます。そのままA1セルをマウスでクリックしてCtrl+Vを押せば、C列の内容がA列にコピーされます。



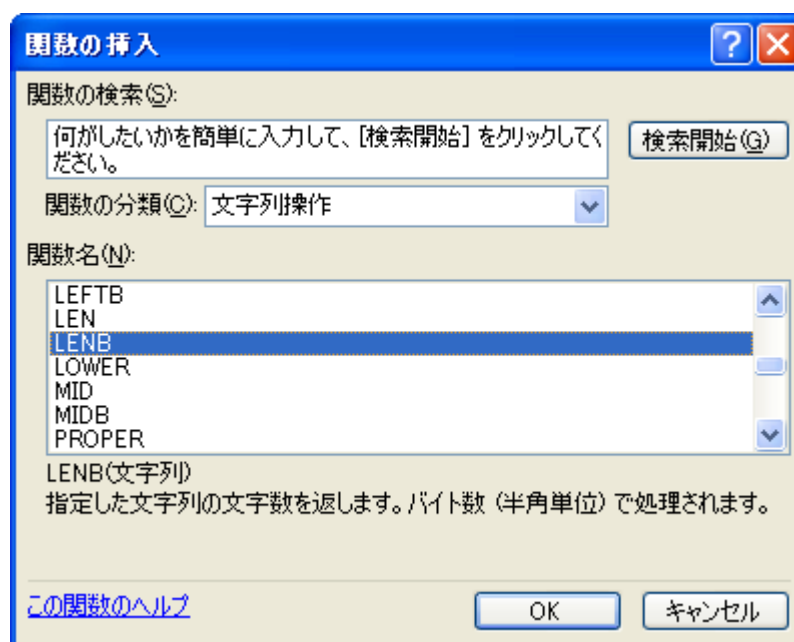
	C	D
1	水素	hydrogen
2	ヘリウム	helium
3	リチウム	lithium

	A	B	C	D
1	水素		水素	hydrogen
2	ヘリウム		ヘリウム	helium
3	リチウム		リチウム	lithium
4	ベリリウム		ベリリウム	beryllium
5	ホウ素		ホウ素	boron
6	炭素		炭素	carbon
7	窒素		窒素	nitrogen
8	酸素		酸素	oxygen

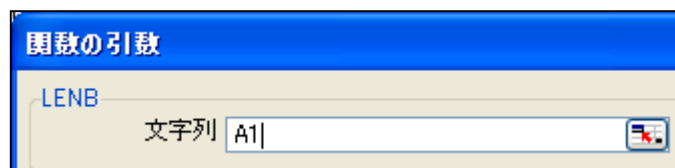
カーソルを B1 セルに合わせ、[挿入]メニューで[関数]を選びます。



関数の分類で[文字列操作]を選択し、関数名 **LENB** を選択します。



引数のダイアログが出ますので、A1 と入力します。



これで関数式 =LENB(A1) が入力され、B1 セルには戻り値である 4 が表示されます。

B1		fx =LENB(A1)		
	A	B	C	D
1	水素	4	水素	hydrogen

戻り値の 4 は A1 セルの見出し語のバイト数に相当します。

B1 セルをコピーし、B1 が点線で囲まれている状態で B2 以下の見出し語の続く行までマウスで選択します。

	A	B	C	D
1	水素	4	水素	hydrogen
2	ヘリウム		ヘリウム	helium
3	リチウム		リチウム	lithium
4	ベリリウム		ベリリウム	beryllium
5	ホウ素		ホウ素	boron
6	炭素		炭素	carbon
7	窒素		窒素	nitrogen
8	酸素		酸素	oxygen

Ctrl+V を押してコピーした内容をペーストします。これで B 列の各セルに=関数式がコピーされ、それぞれの見出し語のバイト数が自動計算されます。

	A	B	C	D
1	水素	4	水素	hydrogen
2	ヘリウム	8	ヘリウム	helium
3	リチウム	8	リチウム	lithium
4	ベリリウム	10	ベリリウム	beryllium
5	ホウ素	6	ホウ素	boron
6	炭素	4	炭素	carbon
7	窒素	4	窒素	nitrogen
8	酸素	4	酸素	oxygen

B 列、C 列、D 列を選択し、[データ]メニューの並べ替えを選びます。

最優先列を B 列にして、降順のソートを実行します。つまり、関数で計算したバイト数の多い順に並べ替えることになります。



B	C	D
4	ベリリウム	beryllium
8	ヘリウム	helium
8	リチウム	lithium
10	ホウ素	boron
6	酸素	oxygen
4	水素	hydrogen
4	炭素	carbon
4	窒素	nitrogen

これで C 列の見出し語がバイト数の多い順に並びます。

なお、B 列の内容そのものは並べ替えがなされません。

気になる人は、(1) B 列全体をコピーし、(2) コピーした内容をテキストエディタなどの新規文書に貼り付け、(3) 貼り付けた内容をコピーし、(4) B 列の内容を削除し、(5) コピーしておいた内容を B 列に貼り戻してください。

一度テキストエディタなどに持っていくことで、B 列に表示される数字が戻り値ではなく単なる数字になりますので、B 列優先の並べ替えと一緒に並べ替えがなされます。

上記の例では LENB という関数を使用していますが、これと似たような関数に LEN があります。基本的な使い方は同じで、違いは LENB が文字のバイト数を返すのに対し、LEN では文字数が戻り値として返されます。